

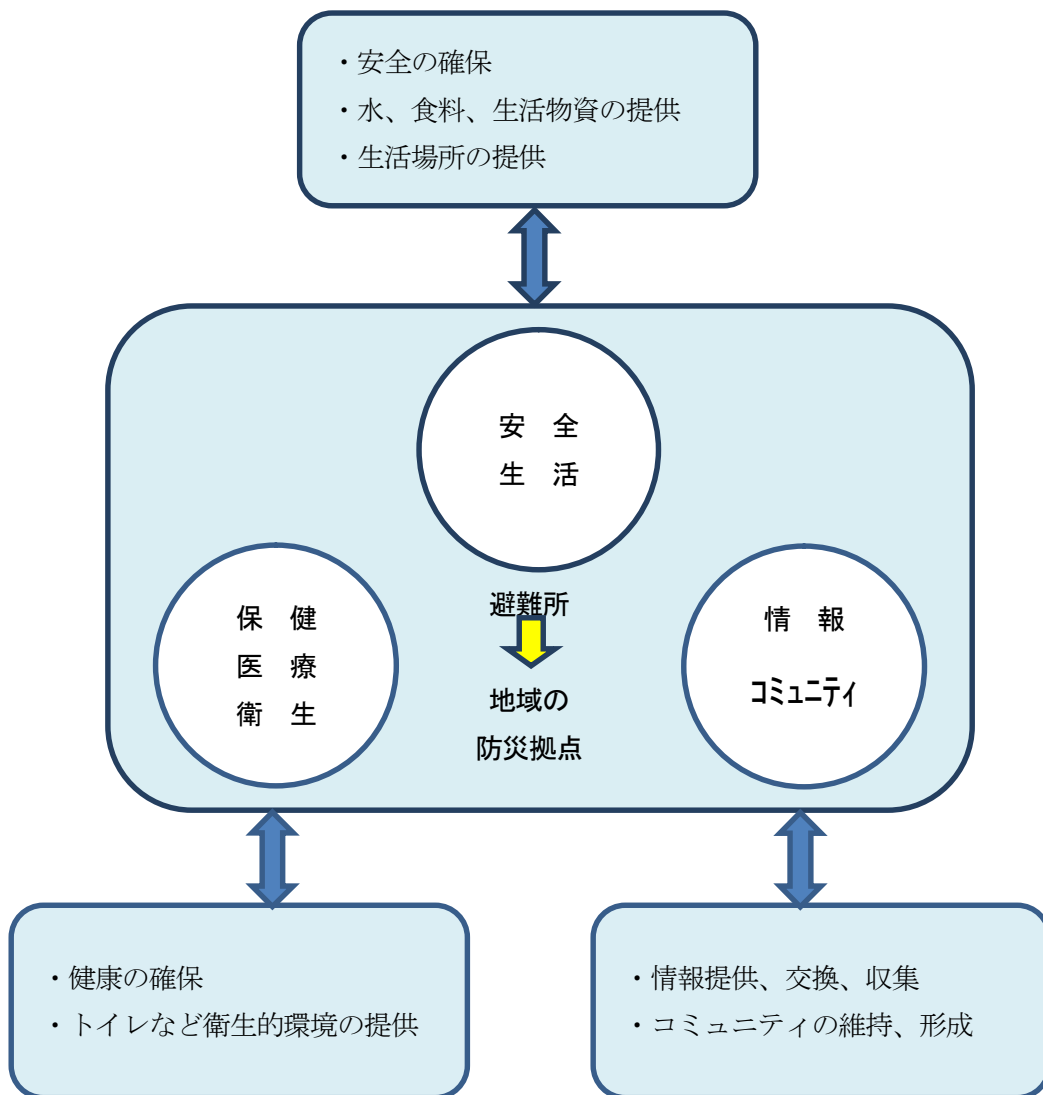
避難所の機能

- 1 避難所の機能体系
- 2 避難所が有する各機能等

避難所は、災害の直前、直後において、住民の生命の安全を確保する避難施設として、さらにその後は生活する施設として重要な役割を果たす。

また、地域の防災拠点として、必要物資の提供、情報の収集・提供、また応急医療等の拠点としての機能を果たすこととなる。

1 避難所の機能体型



2 避難所が有する各機能等

1 安全・生活等の確保に関する機能

① 安全の確保

地震発生直後の余震や風水害による家屋の倒壊、河川の決壊のおそれがある場合等、災害発生直前又は直後において、安全な施設に、迅速・確実に避難者を受け入れ、避難者の生命・身体の安全を守る機能であり、第一に優先させるべきものである。

② 水・食料・生活物資の提供

避難者に対して、飲料水や非常食、食材の供給、被服・寝具の提供等を行う機能である。原則として、ライフラインの復旧、流通経路の回復に伴い必要性が減少していく。

③ 生活場所の提供

家屋の損害やライフラインの途絶等により、自宅での生活が困難になった避難者に対し、一定期間にわたって、就寝や起居の場を提供する機能である。季節や期間に応じて、暑さ・寒さ対策や炊事、洗濯のための設備のほか、プライバシーへの配慮等生活環境の改善が必要となる。

2 保健・医療の提供、衛生管理等に関する機能

④ 健康の確保

避難者の傷病を治療する救護機能と健康相談等の保健医療サービスを提供する機能である。初期の緊急医療、巡回健康相談等が中心であるが、避難の長期化に伴い、心のケア等が重要となる。

⑤ トイレなどの衛生的環境の提供

避難者が生活を送る上で必要となるトイレ、風呂・シャワー、ゴミ処理、防疫対策等、衛生的な生活環境を維持する機能であり、避難の生活が続く限り継続して必要となる。

3 情報提供、コミュニティの形成等に関する機能

⑥ 情報の提供・交換・収集

避難者に対し、災害情報や安否情報、支援情報等を提供するとともに、避難者同士が安否の確認や情報交換を行える機能であり、また、避難者の安否確認や被災状況、要望等に関する情報を収集し、本部へ発信する機能である。時間の経過とともに必要とされる情報の内容は変化することに留意する必要がある。

⑦ コミュニティの維持・形成

避難している近隣の住民同士が、互いに励まし合い、助け合いながら生活することができるよう、従前のコミュニティを維持したり、新たに避難者同士のコミュニティを形成する機能である。この機能は、避難の長期化とともに重要性が高まる。

4 避難所機能確保に関する留意事項

前記1～3（2ページ）に定めた避難所の機能が十分に発揮できるよう、次の点についても留意する（下記①～⑥の番号は、前記1～3に記載の①～⑥の番号）。

○時間経過に応じた優先すべき機能

災害発生直後の混乱期においては、運営管理体制が整わず、避難所の機能を完全に発揮することが困難な場合が生じることから、時間の経過に応じて優先されるべき機能について、重点化を図ることが重要である。

時系列的には、初期において優先すべき機能は、次に掲げるもので、それに続いて他の機能が必要となってくる。その後、ライフラインの復旧や避難者の住居の確保等に伴い、各機能の必要は減少し、避難所を撤収することとなる。

初期に優先すべき機能

- ① 安全の確保
- ④ 健康の確保
- ③ 生活場所の提供
- ② 水・食料・生活物資の提供
- ⑥ 情報の提供

○在宅被災者に対する公平サービスの提供

次の機能は、避難所に入っている避難者だけでなく、在宅被害者についても、必要に応じて公平にサービスが受けられるようにすることが必要である。

在宅被災者にも提供するサービス

- ② 水・食料・生活物資
- ④ 健康の確保
- ⑤ トイレなどの衛生的環境の提供
- ⑥ 情報の提供・交換・収集

○長期化した場合の避難所機能

避難所が長期間にわたり開設されるときは、避難所での各サービスが単に仮住まいの場を提供するというだけでなく、生活再建・復興への支援として機能させる必要がある。

○避難住民自身による避難所運営への参加

大規模災害時の避難所運営において重要なことは、避難者が単にサービスの受け手であるだけでなく、災害時要援護者等を支えながら、お互いに助け合い、避難所運営に参加することによって、初めて避難所の機能を発揮することができるということである。

